

大阪企業家ミュージアム「サポートスタッフ」ボランティア活動紹介 社友会の皆様待ってますよ！（地下鉄堺筋線堺筋本町）

大阪企業家ミュージアムでは、シャープ創業者早川徳次のコーナーに「他社にまねされるような商品をつくれ」の名言が紹介され、その一つに今年発売50周年を迎えるオールトランジスタ電子式卓上計算機 CS-10Aが展示紹介されています。

今回、この周年を機会に日頃ボランティアで案内頂いているサポートスタッフの方々の勉強会で、「母なる電卓CS-10A」の開発背景から電卓戦争までと題して日頃の案内のお役にたてればと、電卓の主要素技術、半導体、表示素子等の技術革新と商品の進化を紹介しました。説明資料をまとめる中で改めて、電子立国日本の先がけを担った電卓技術のチャレンジ精神とイノベーションを強く認識しました。

サポートスタッフの勉強会

当ミュージアムに展示されている、母なる電卓CS-10A



CS-10A開発設計者との再会



左の写真は50年前、世界初オールトランジスタ電卓CS-10Aを開発設計された一人の内田さんに来館頂きました。

当時の苦労話と操作方法を上手く説明出来なかったフルキーボードの操作をお聞きしたりして懐かしく父子の再会をして頂きました。

（この時の様子は大阪企業家ミュージアムホームページのブログで紹介されています）

新聞、テレビ等で電卓誕生半世紀で紹介の通りこの機会に来館お待ちしております。